

I . 研究全体の背景と視点

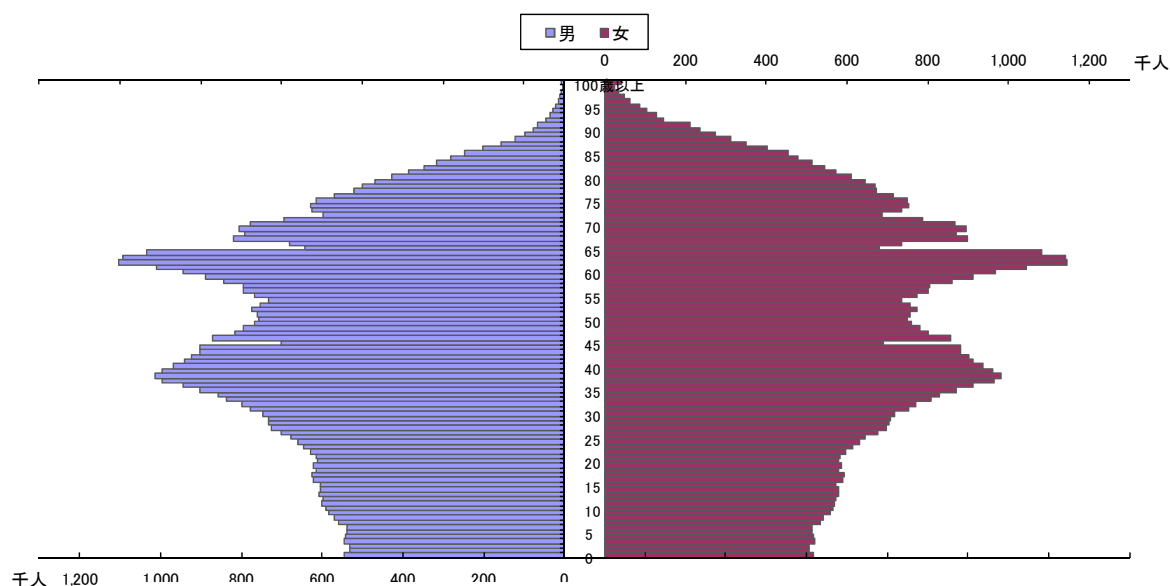
I. 研究全体の背景と視点

本報告書は、八王子市都市政策研究所の平成 24・25 年度研究テーマ『人口減少社会とこれからの八王子～定住人口の維持・増加を目指して～』の研究の一環として行った本市の将来人口推計についてまとめたものである。報告にあたり、まず研究全体の背景について述べる。

1. 研究の背景

戦中の一時期を除き、明治以降一貫して増加を続けてきた日本の人口が減少期に入ったことは一般にも知られ始めている。藤正（2000）は既に 2000（平成 12）年の段階で、少子高齢化という人口構造の偏りが人口減少の原因となり、その影響が将来にわたることを指摘している。日本の人口が集中している現在 60 歳代あるいは 30～40 歳代が高齢期を迎えていくこと、また将来の出生数を支える若年者層が少ないという事実は、日本の人口が恒常的に減少し続けることを表している（図表 1 - 1）。急速な高齢化と将来の人口減少は、避けることのできない現実として顕在化している。

図表 1 - 1 日本の人口構造



出所：住民基本台帳（平成 23 年 10 月 1 日現在）をもとに八王子市都市政策研究所作成

総務省が住民基本台帳をもとに毎年発表している「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」によれば、2012（平成 24）年 3 月末時点の人口では、65 歳以上の老年人口比率は 23.43%と過去最高に達する一方で、0～14 歳の年少人口比率は 13.25%と減少を続けており、同時に日本人人口の総数も 3 年連続して減少を続けている（注 1）。また、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の将来推計人口（平成 24 年 1 月推計）」においても、2048（平成 60）年には総人口が 1 億人の大台を割り込むと見込まれており、35 年後には現在の総人口の約 2 割が減少する計算となっている（注 2）。日本の人口が、これまでの右肩上がりの増加傾向から長期の減少傾向へと大きな転換期を迎えていることを、私たちは認識しなければならない。

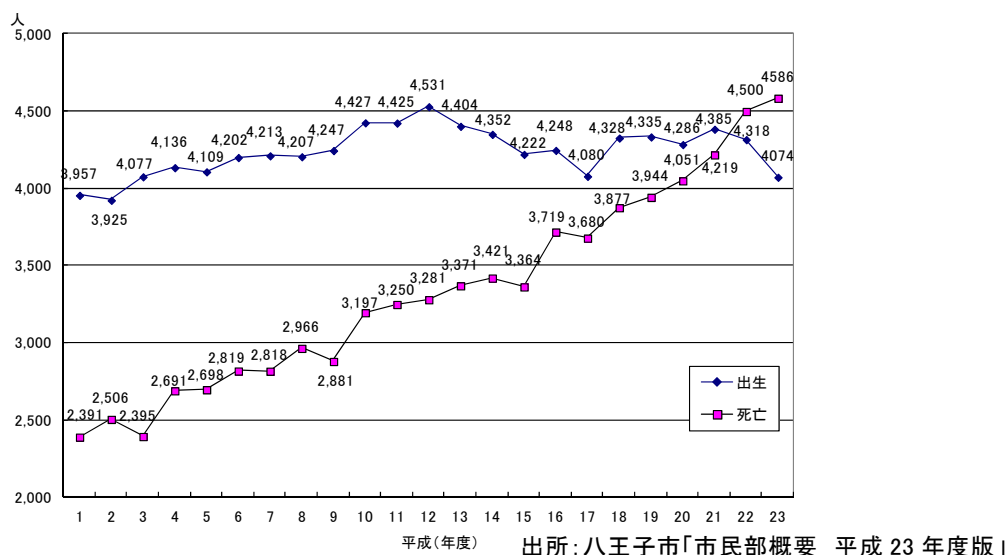
進行する高齢化と人口減少の度合いは、都市部とそれ以外の地域で大きな差を生みつつある。地方では以前から高齢化と人口流出が課題となってきた一方、都市部では現在も人口が漸増傾向を示し、全国的には都市部への人口集中が傾向として表れている（注 3）。しかし、その都市

部にあっても人口が減少し始めている基礎自治体が存在する。このことは国内随一の企業数を有し、多くの住民の職住が近接している東京都の郊外に位置し、人口集積にとって有利な条件を備える八王子市でも、人口減少は例外ではないことを示唆している。

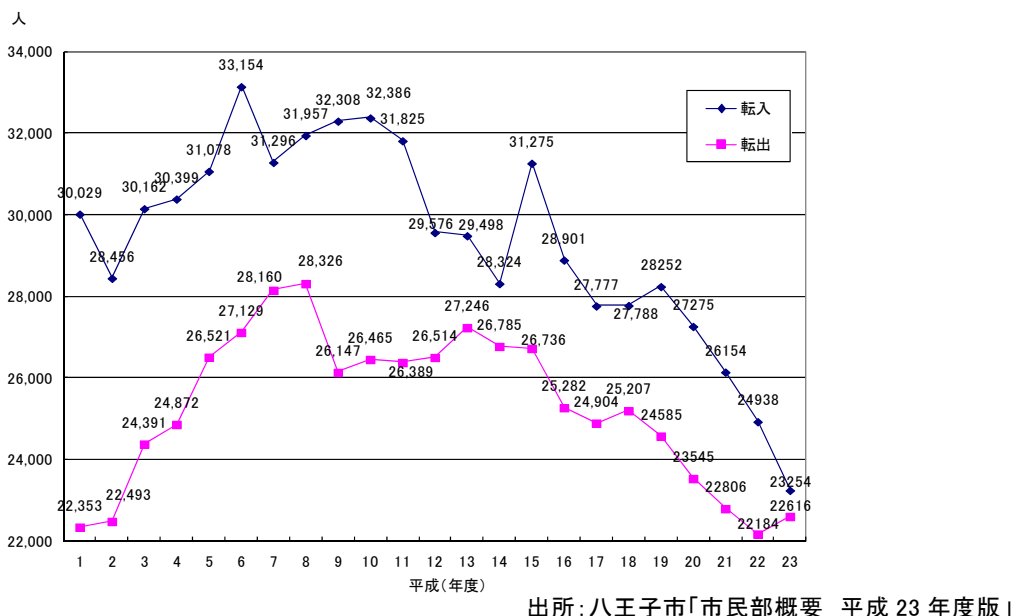
本市の人口は現時点では漸増を続けているものの、減少の兆候は既に表れ始めている。出生・死亡に伴う人口の動きを表す自然動態については、2010（平成 22）年度に死亡者数が出生者数を上回り、それ以降減少している（図表 1 - 2）。また、転入・転出に伴う人口の動きを表す社会動態についても転入者数は年々減少しており、2012（平成 24）年度には転出者数との差はわずかとなっている（図表 1 - 3）。2013（平成 25）年 3 月策定の八王子市の第 3 次基本構想・基本計画の人口推計においても、2020（平成 32）年には人口減少が始まるとしている。

このように、近い将来人口減少が予測される状況にあって、本市は課題を具体的な形で想定して長期的な対策を早急に講じる必要があると言えよう。

図表 1 - 2 出生・死亡者数の推移（自然動態）



図表 1 - 3 転入・転出者数の推移（社会動態）



2. 研究の視点

前節で述べたような背景に基づき、本研究は「人口減少がいかなる影響を八王子市の各地域に与えるか」という視点で課題の明確化と整理を行い、今後の本市の長期的な政策形成につなげることを目的としている。

人口減少という課題について、本研究では、まず市内の人口の変化の実態を正確に把握することを念頭に、とくに各地域の特性を把握することに重点を置いた。都内の他市町村と比べて広い市域を有し（注4）、地域によって地勢が大きく異なる本市にあつては、地域ごとに人口動態の違いが生まれ得ることも予想されるため、地域特性を把握することが重要と考えた。

具体的には、以下の（1）及び（2）に焦点をあわせ、4つの調査（基礎調査、調査Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を行うものである。そのうえで調査分析結果から課題を整理し、人口減少社会への対応として本市がとるべき政策の方向について、25年度中に提言する予定である（図表1-4）。

（1）人口動態の把握

本市全域・市内各地域に人口構造の変化が与える影響と課題を整理する。

⇒【基礎調査】人口動態：統計データをもとにした市内各地域の人口動態の把握

⇒【調査Ⅰ】地域特性：将来人口の推計及び市内各地域の特性分析

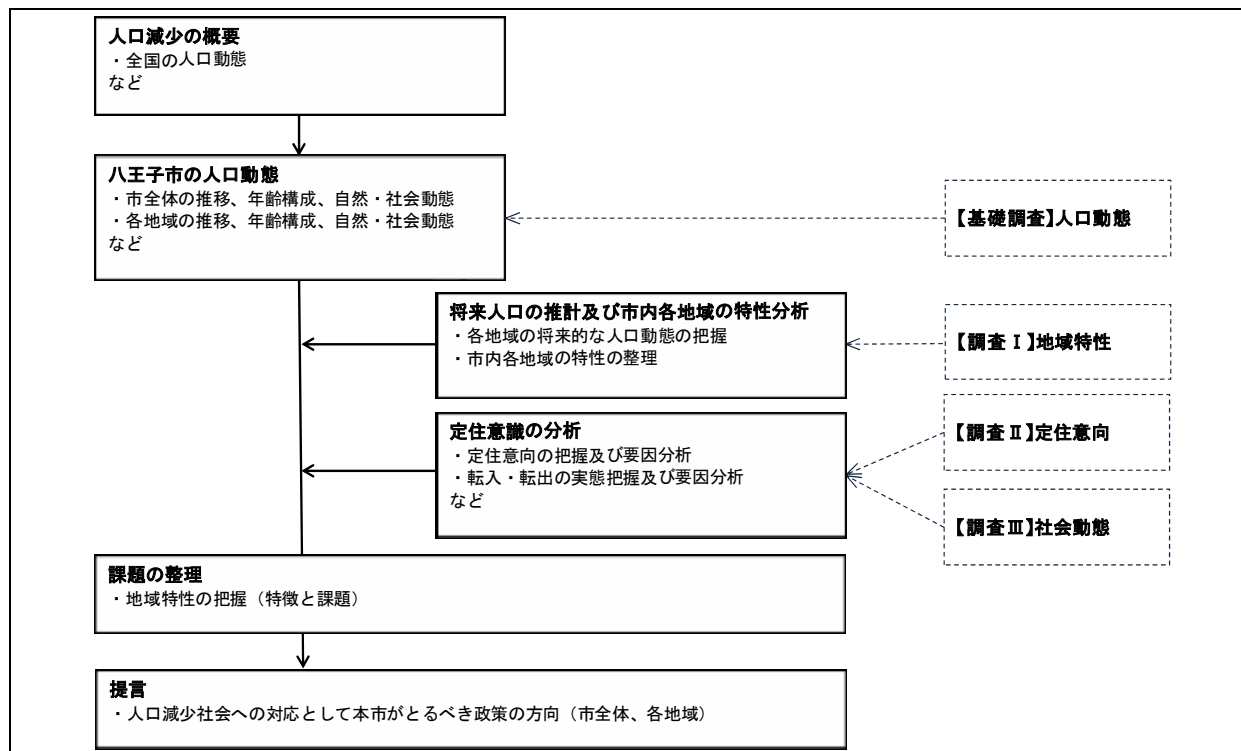
（2）定住意識の分析

居住における八王子市及び市内各地域の持つ魅力と課題を整理する。

⇒【調査Ⅱ】定住意向：市民の定住・転出意向の実態把握及び分析

⇒【調査Ⅲ】社会動態：転入・転出の実態把握及び要因の分析

図表 1-4 本研究の全体像



本報告書では、上記「（1）人口動態の把握」の中の【調査Ⅰ】将来人口の推計及び市内各地域の特性分析について報告する。